

# p<sub>Λ</sub>T<sub>E</sub>X によるレジュメの作成

ソフトウェアデザイン研究室      60216000      福安 直樹

概要：この文章は、和歌山大学システム工学部システム工学科社会情報学メジャーの卒業研究発表会において配布されるレジュメを p<sub>Λ</sub>T<sub>E</sub>X を用いて作成するための方法を記述したものである。この文章もまた、統一されたレジュメの体裁に沿って作成されており、レジュメ作成の際の参考にされたい。

キーワード：レジュメ, 和歌山大学システム工学部, 卒業論文

## 1 レジュメ

レジュメは、A4 用紙 2 枚を上限とし、卒業論文提出時に同時に提出することになっている<sup>1</sup>。レジュメに記述しなければならないのは、本文に加えて次の各項目である。

- タイトル
- 所属研究室
- 学生番号
- 氏名
- 概要
- キーワード (5 語程度)
- 参考文献

本フォーマットでは、2 ページという限られた領域を有効に利用するために、2 段組のレイアウトを採用している。

本レジュメフォーマットは、

- wuse\_resume.sty
- resume\_sample.tex

の 2 つのファイルから構成される。wuse\_resume.sty ファイルは、T<sub>E</sub>X を用いてレジュメを作成する際に、統一的なスタイルを与える I<sub>Λ</sub>T<sub>E</sub>X のスタイルファイルである。resume\_sample.tex ファイルは、このスタイルファイルを利用してレイアウトした文書の例である。

以下では、本スタイルファイルを利用するための方法、および 2 段組のレイアウトを効果的に使うための手法を解説する。なお、本スタイルファイルの姉妹版として、卒業論文用スタイルファイル [1] も用意しているので参考にされたい。T<sub>E</sub>X や I<sub>Λ</sub>T<sub>E</sub>X についての情報は、書籍 [4, 6, 5] や T<sub>E</sub>X Wiki<sup>2</sup>が詳しい。

## 2 タイトル、氏名、概要など

タイトルや氏名などは、それぞれ “\タイトル” や “\氏名” コマンドを利用して指定する。この他に、所属研

```
\begin{figure}
\centering
図 (\includegraphics{hoge.eps}など)
\caption{figure 環境}\label{figenv}
\end{figure}
```

図 1: 図の例

究室 (\研究室), 学生番号 (\学生番号), 概要 (\概要), キーワード (\キーワード) を指定するためのコマンドが用意されている。これらの情報は、\maketitle によって 1 ページ目上部中央に出力される。

## 3 図、表

論文/レジュメでは、図、表などを効果的に使用する。

### 3.1 図

figure 環境を利用することによって図にキャプション (\caption) を付けることができる。図には通し番号が付けられ、キャプションに \label を設定しておくと、“図 1” のように \ref によって図を番号で参照することができる。図 1 に figure 環境を用いた記述例を示す。なお、図のキャプションは、図の下部に付けるのが一般的である。

includegraphics を用いて PDF 形式/PNG 形式/JPEG 形式/EPS 形式等の図を文章の中に取り込むことができる。この場合には、\begin{document}の前に \usepackage[dvipdfmx]{graphicx} を追加する。

### 3.2 表

table 環境を利用することによって図と同じように、キャプションをつけたり、ラベルにより参照したりすることができる。なお、表のキャプションは、表の上部に付けるのが一般的である。

### 3.3 横長の図・表

2 段組の文書を作成していて、1 段でレイアウトしたい横長の図や表を入れるためには、figure\* や table\* 環境を利用する。表 1 に横長の表の例を示す。

<sup>1</sup>平成 15 年度より、レジュメのスタイルは学科である程度統一されることになった。

<sup>2</sup><https://texwiki.texjp.org/>

表 1: 横長の表

条件	その 1	その 2	その 3	その 4
条件 1	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979
条件 2	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979
条件 3	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979	3.14159265358979

## 4 参考文献

レジュメには、参考文献も含める。ここでは、一般的な thebibliography 環境を利用している。

## 5 質問等

このレジュメ体裁 (pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 版) に関する質問は、メールにて、fukuyasu@wakayama-u.ac.jp まで。

## 6 おためし

### 6.1 箇条書

- 普通の箇条書 1
- 普通の箇条書 2
- 普通の箇条書 3
- 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト
- 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト

### 6.2 番号付き箇条書

1. 普通の箇条書 1
2. 普通の箇条書 2
3. 普通の箇条書 3
4. 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト
5. 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト

hoge 普通の箇条書 1

foo 普通の箇条書 2

var 普通の箇条書 3

長い箇条書のタイトル 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト

長い箇条書のタイトル 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト, 長い箇条書のテスト

### 6.2.1 subsubsection のタイトル

パラグラフ

サブパラグラフ 文章の構造は, section, subsection, subsubsection, paragraph, subparagraph である。

## 参考文献

- [1] 福安直樹, 和歌山大学システム工学部卒業論文用スタイルファイル, [https://github.com/fukuyasu/wuse\\_thesis](https://github.com/fukuyasu/wuse_thesis).
- [2] Knuth, D., Remarks to Celebrate the Publication of Computers & Typesetting, TUGboat, Vol.7, No.2, pp.95–98, 1986.
- [3] Lamport, L., 文書処理システム L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub>, ピアソン・エデュケーション, 1999, 阿瀬はる美 訳.
- [4] 奥村晴彦, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 入門 —美文書作成のポイント—, 技術評論社, 1993.
- [5] 奥村晴彦, 黒木裕介, [改定第 6 版] L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub> 美文書作成入門, 技術評論社, 2013.
- [6] Goossens, M., Mittelbach, F. and Samarin, A., The L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X コンパニオン, アスキー出版局, 1998, アスキー書籍編集部 監訳.